



柿木図書館カレンダー

4月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
<u>6</u>	7	8	9	10	11	12
<u>13</u>	14	15	16	17	18	19
<u>20</u>	21	22	23	24	25	26
<u>27</u>	28	<u>29</u>	30			

5月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	<u>3</u>
<u>4</u>	<u>5</u>	<u>6</u>	7	8	9	10
<u>11</u>	12	13	14	15	16	17
<u>18</u>	19	20	21	22	23	24
<u>25</u>	26	27	28	29	30	31



…休館日

日付

…午後5時閉館

【開館・貸出時間】

月曜 ～ 土曜 … 午前9時～午後8時

日曜 ・ 祝日 … 午前9時～午後5時

【休 館 日】

第1月曜日・第3木曜日 年末年始(12/31～1/4)

かきのき

2025年 4月号

インテリアを 考える

あなたのギモン 図書館の本が解決します！
柿木図書館にあらしく入った図書
2024 年度・予約の多かった本&借りられた本
今月の展示のご案内
柿木図書館カレンダー

杉並区立柿木図書館
杉並区上井草 1-6-13 ☎03-3394-3801
<https://www.library.city.suginami.tokyo.jp/>

今月の展示のご案内



あなたのギモン 図書館の本が解決します！

4月10日はインテリアを考える日。
なので考えてみましょう。



お部屋がどうもオシャレとは言い難い、生活感を演出した内装の中で暮らしてはいませんか。

今回は新生活を始める方のために、もっとも基本となるインテリアの考え方を調べました。

一番大事なことは、「雰囲気を決める」。ひょっとしたらこの一言ですべてかもしれません。

モダンか、和か、カフェ風か、はたまたミッドセンチュリーか。

次にその雰囲気にあった家具の「質感と色調」。

質感とは、ツルピカなのかフカフカのか、見た人に与える印象のことで、色調とは色の明度と彩度を同時に表したものです。

この「雰囲気」と「質感と色調」の二つを揃えることによってまとまった、おしゃれな部屋にみえるようです。

ただし何事にも例外があり、照明の色一つで台無しにもなり、植物一つで抜けた部屋になるとのこと。

結局、おしゃれに楽な道はなさそうです。

参考文献

片づけたくなる部屋作り[1](597㉔) 本多 さおり／著 ワニブックス 2012.12
海外みたいにセンスのある部屋の作り方(597㉔) 早<SAKI>／著 大和出版 2022.8
インテリアの基本レッスン(597シ) 主婦の友社／著 2009.9

一般展示

□ 腔 衛 生

自分の歯が20本以上あれば、ほぼ満足に噛むことができるといわれています。出来るだけ長く保つには、口の中を清潔にすることが大切です。そこで今月は口腔衛生に関する資料を揃えました。

期間：4月8日(火)～5月6日(火・祝)

場所：1階 ロビー



YA展示

いま、この本

杉並区立図書館では毎年、中高生世代におすすめしたい本を幅広いジャンルから選んで『いま、この本』というブックリストにして紹介しています。今月は、最新版の『いま、この本 2024-2025』に掲載した本を展示しますので、ぜひ手に取ってみてください。

期間：4月8日(火)～5月6日(火・祝)

場所：2階 YAコーナー

一般展示

ウソです。

エイプリルフール、皆さんは人をうまくだませましたか。ウソはウソでも、優しいウソ、楽しいウソ、怖いウソなど呼び起こされる感情はさまざまです。そんなウソをテーマに本を紹介します。

期間：4月8日(火)～5月6日(火・祝)

場所：2階 展示コーナー

2024 年度 を統括!!

予約が多かった本

みんなが読みたかった! *Best*

20

2024/4/1~2025/3/15、雑誌・視聴覚を除く

	タイトル (版年月)	著者名	記号	件数
1	成瀬は天下を取りにいく (2023.3)	宮島 未奈	913.6 ミ	1,842
2	架空犯 (2024.11)	東野 圭吾	913.6 ヒ	1,141
3	成瀬は信じた道をいく (2024.1)	宮島 未奈	913.6 ミ	1,079
4	赤と青のガウン (2024.4)	彬子女王	BY ミ	1,017
5	クスノキの女神 (2024.6)	東野 圭吾	913.6 ヒ	1,004
6	俺たちの箱根駅伝 上 (2024.4)	池井戸 潤	913.6 イ	947
7	俺たちの箱根駅伝 下 (2024.4)	池井戸 潤	913.6 イ	897
8	書いてはいけない (2024.3)	森永 卓郎	304 モ	869
9	あいにくあなたのためじゃない (2024.3)	柚木 麻子	913.6 ヌ	781
10	spring (2024.4)	恩田 陸	913.6 ヨ	761
11	藍を継ぐ海 (2024.9)	伊与原 新	913.6 イ	743
12	地雷グリコ (2023.11)	青崎 有吾	913.6 ア	738
13	なぜ働いていると本が読めなくなるのか (2024.4)	三宅 香帆	019 ミ	721
14	ツミデミック (2023.11)	一穂 ミチ	913.6 イ	695
15	白鳥とコウモリ (2021.4)	東野 圭吾	913.6 ヒ	659
16	青い壺 (2011.7)	有吉 佐和子	BG ア	629
17	禁忌の子 (2024.10)	山口 未桜	913.6 ヤ	622
18	生殖記 (2024.10)	朝井 リョウ	913.6 ア	601
19	暗殺 (2024.6)	柴田 哲孝	913.6 シ	592
20	きみのお金は誰のため (2023.10)	田内 学	330 タ	584

★成瀬と東野が席卷した一年となりました。予約が集中する本は複本を増やして対応しますが、それでもこれほどの人気だとかなり長くお待ちいただくことになり、たいへん申し訳ありません。どうぞ楽しみにお待ちください。

2024 年度 を統括!!

何度も借りられた本

みんなが読んだ! *Best*

20

2024/4/1~2025/3/15、児童・雑誌・視聴覚を除く

	タイトル (版年月)	著者名	記号	件数
1	白鳥とコウモリ (2021.4)	東野 圭吾	913.6 ヒ	744
2	希望の糸 (2019.7)	東野 圭吾	913.6 ヒ	520
3	52 ヘルツのクジラたち (2020.4)	町田 その子	913.6 マ	496
4	成瀬は天下を取りにいく (2023.3)	宮島 未奈	913.6 ミ	468
5	同志少女よ、敵を撃て (2021.11)	逢坂 冬馬	913.6 ア	465
6	汝、星のごとく (2022.8)	凧良 ゆう	913.6 井	436
7	街とその不確かな壁 (2023.4)	村上 春樹	913.6 ム	405
8	ブラック・ショーマンと名もなき町の殺人 (2020.11)	東野 圭吾	913.6 ヒ	359
9	九十歳。何がめでたい (2016.8)	佐藤 愛子	914.7 井	352
10	マスカレード・ゲーム (2022.4)	東野 圭吾	913.6 ヒ	351
11	クスノキの番人 (2020.3)	東野 圭吾	913.6 ヒ	345
12	かがみの孤城 (2017.5)	辻村 深月	913.6 ツ	344
13	透明な螺旋 (2021.9)	東野 圭吾	913.6 ヒ	332
14	教誨 (2022.11)	柚月 裕子	913.6 ヌ	328
15	流浪の月 (2019.8)	凧良 ゆう	913.6 井	325
16	可燃物 (2023.7)	米澤 穂信	913.6 ヨ	323
17	一夜 (隠蔽捜査 10) (2024.1)	今野 敏	913.6 コ	320
18	くもをさがす (2023.4)	西 加奈子	916.2 ニ	318
19	成瀬は信じた道をいく (2024.1)	宮島 未奈	913.6 ミ	316
20	黄色い家 (2023.2)	川上 未映子	913.6 カ	315

★言わずと知れた人気作がずらり。数年にわたって読まれているのがわかります。1 位でいうと、複本が区内に 41 冊あるので 1 冊あたり平均 18 回以上、ときどき棚に戻るか戻らないか、といった具合です。これから読む方はぜひご予約ください。

柿木図書館に新しい 雑誌が増えました

4月から下記の雑誌が新たに加わりました。
ぜひ、手にとって、お楽しみください。

<ノジュール> 月刊 出版/JTBパブリッシング

ご自身の中に眠っている興味・関心の発見や新しい趣味の始め方など、50代からの旅行ライフを3倍楽しく過ごすための情報をお届けする雑誌です。

<おとなの週末> 月刊 出版/講談社

三大テーマ「食を愛する・街を楽しむ・旅に恋する」を毎号、美しい写真とともに特集。実際にスタッフが覆面取材した情報なので、お店選びの際の参考にぜひ！

<相撲> 月刊 出版/ベースボールマガジン社

「相撲」は全力士の星取表や略歴・決まり手一覧・優勝者インタビューや、巡業日程などを掲載しています。あらゆる相撲ファンのニーズに応える専門誌です。

※4月に発売される号から図書館で購入します。最新号は、次の号が入るまで貸出できません。図書館ホームページにて予約をしてください。

●柿木図書館に新しく入った図書●

『遠慮深いうたた寝』 小川 洋子/著 河出書房新社 BG オ

小川洋子さん、10年ぶりの文庫化エッセイ集です。

小説同様エッセイにも小川さんの世界観が溢れています。何気ない日常の中にある幸せ、亡き両親への想い、言葉（「ふと、」）の考察、もの（本の葉ひも）への愛着、登場人物に名前をつけられない理由。。。

小さく、ささやかなものへの温かいまなざしが、白い陶器のような装幀の本の中に優しく収められています。この本を読んだ後、是非、小川さんの小説

を読んでみてください。読んだことのある本の再読もお薦めです。きっと、より味わい深いものになるでしょう。対象の本への愛情のつまった最終章の書評集も素敵です。



『日本の国民皆保険』 島崎 謙治/著 筑摩書房 364/シ

「高額療養費制度の自己負担限度額の引き上げ」に関する議論が、話題になったことは記憶に新しいのですが、そもそも我が国の国民皆保険制度について、私たちはどのくらい知っているのでしょうか？「日本が世界に誇れる」という形容詞で語られる国民皆保険制度。この仕組みがなぜ、どのように生まれ

たのか。医療政策の第一人者が国民皆保険の構造と軌跡を明らかにし、今後の展望を描いています。多少、難解なため、著者もあとがきで述べているように、「関心事に応じ、取捨選択して」読んでも十分為になりますよ。



『東大視点 ものごとの本質を見抜くための31の疑問』 西岡 吉誠/著 幻冬舎

141.5/二



ものごとの本質に迫り、深く捉えるためには、情報のインプットの質を上げることが肝要だ、と著者は説きます。そのための着眼点を「使われている言葉に対する感度を高める（例：食料と食糧の違い）」「数字やデータをよく観察する（例：グラフでの印象操作）」「日常生活や社会の仕組みに興味を持つ（例：近接する同一ブランドのコンビニ）」という3つの観点から具体的に理解を深めるためのチャレンジ問題も収録されていますので、是非。